

優秀賞

私と弟の学んだこと

大野城市立大野南小学校 4年 奈須 奏苗

今年の春、弟が新一年生になりました。弟はまだ、信号を一人で見るのはとく意じゃないし、信号がかわると、すぐ走ってわたろうとします。そのたびに私は、弟の手を引っぱって止めたりしなくてははいけません。

「あぶないなあ。道の歩き方をどうやって教えたらいいのかなあ。」といつも考えてました。

そんなとき学校で、一年生と四年生に向け、交通安全教室がありました。一年生は道や横断歩道の、わたり方をけいさつの方たちから学びました。

すると弟は、道や横断歩道をちゃんとわたれるようになりました。

そして四年生の私は、自転車の安全な乗り方をならいました。横断歩道では、自転車はおしてわたることや、曲がり角では、まず自転車からおりて右左を見るという事を、教えてもらいました。

それを体験して思った事は、道や横断歩道には、弟のような小さな子や、お年よりの人がいるので、自転車に乗る私の方も、気をつけなければならないと思いました。

交通事故をへらすには、歩く人、運転する人、両方の注意が大切なんだと思います。

四年生になった私も、一人で自転車に乗れるようになったので、今回習った事をわすれずに、楽しく自転車に乗りたいと思います。